



せたがや区議会だより

No.227

平成22年(2010年)11月20日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL (5432) 1111代表 FAX (5432) 3030

http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

平成21年度決算を認定

第3回 定例会

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から36件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。なお、街づくり条例の改正案に対して修正案が出され、修正案は賛成少数で否決されました。また、後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙候補者の推薦も行いました。

●21年度各会計決算の認定 6件

○一般会計
賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生、政策、社民、無所属
反対 共産、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○国民健康保険事業会計

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生、政策、社民、無所属
反対 共産、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○後期高齢者医療会計

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生、政策、社民、無所属
反対 共産、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○老人保健医療会計

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、共産、生、政策、社民、無所属
反対 無党派

○介護保険事業会計

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生、政策、社民、無所属
反対 共産、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○中学校給食費会計

賛成多数 賛成 自民、公明、共産、生、政策、社民、無所属
反対 民主、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○22年度各会計補正予算 7件

○一般会計(第一次)

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生、政策、社民、無所属
反対 共産、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○一般会計(第二次)

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生、政策、社民、無所属
反対 共産、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○国民健康保険事業会計(第一次)

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、共産、生、政策、社民、無所属
反対 共産、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○後期高齢者医療会計(第一次)

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生、政策、社民、無所属
反対 共産、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○老人保健医療会計(第一次)

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、共産、生、政策、社民、無所属
反対 無党派

○介護保険事業会計(第一次)

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、生、政策、社民、無所属
反対 共産、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○中学校給食費会計(第一次)

賛成多数 賛成 自民、公明、民主、共産、生、政策、社民、無所属
反対 共産、無党派
減税 みんな虹、世田谷、無所属

○補正後の予算額は次のとおり。

一般会計 二四九三億六九八六万六千円

国保会計 七〇八億六六四二万三千円

後期高齢者会計 一五八億二九三万一千円

老保会計 三九二万三万四千円

介護会計 四四五億二九一萬一千円

給食会計 一億七千七百六十二円

●条例の改正 6件

○財産の交換、譲与、無償貸付等

○障害者福祉施設条例

○梅丘精神障害者共同作業所を当該条例に位置づけ、名称を梅丘ウッドペッカーの森に変更することなど。

○保育園条例

○用賀保育園分園(用賀2-28-20)の設置。

○街づくり条例

○大規模土地取引行為の届出規定や建築構想の事前調整規定の追加など。

賛成多数 賛成 自民、公明、政策、みんな虹、世田谷、無所属
反対 民主、共産、生、社民、無党派、減税、虹

○地区計画区域内の建築物制限条例

○敷地面積の最低限度の制限を定める地区計画等の区域内で、制限が適用除外となる事由の追加など。

○学校設置条例

○若林中と山崎中を統合し、世田谷中(若林5-27-18)を設置すること。

○工事請負契約の締結 7件

○上北沢小学校改築工事

○相手方・契約金額

白井・高野建設共同企業体 一五億六一三五万円

工事名	相手方・契約金額
改築	白井・高野建設共同企業体 一五億六一三五万円
電気設備	米沢・大新建設共同企業体 一億七八五〇万円
空調調和設備	温調・コートダジュール建設共同企業体 二億三三三〇万円

工事概要 地上4階建(普通教室13、特別支援学級、太陽光発電スペース、プールなど)

会派名等

- 自民 自由民主党世田谷区議団
- 公明 公明党世田谷区議団
- 民主 世田谷区議会民主党
- 共産 日本共産党世田谷区議団
- 生ネ 生活者ネットワーク世田谷区議団
- 政策 せたがや政策会議
- 社民 社会民主党世田谷区議団
- 無党派 無党派市民
- 減税 減税世田谷
- みんな みんなの党せたがや
- 虹 レインボー世田谷
- 世田谷 世田谷無所属の会
- 無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

(8ページへ続く)



「第42回愛馬の日」での相馬野馬追の様子 (JRA馬事公苑)

代 表 質 問

代表質問、一般質問の様様をホームページで生中継・録画中継しています。
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>
議会中継をクリック！



「第19回萩・世田谷幕末維新祭り」の幕末の志士+奇兵隊パレードの様子

引き続き調査検討を進める。
梅丘での小児精神医療機能の確保
質問 小児精神医療を担っていた梅ヶ丘病院の廃止で多くの患者が行き場を失った。引き続き梅丘で医療を提供できるよう、跡地利用方針に小児精神医療を位置づけよ。
保健福祉部長 専門医療との連携により、支援の充実を図る。
跡地に特養ホームの整備
質問 世田谷区の特別養護老人ホームの整備率は都内最低水準の0.8%、待機者も250人にも上る。都立梅ヶ丘病院の跡地に特別養護老人ホームを整備すべきだ。

地域福祉部長 地域や地区での特養ホームの整備促進に鋭意努める。
区民の声を生かした街づくり条例
質問 区が今定例会で提案する街づくり条例の改正案は、案づくりの過程で区民との十分な議論がなされず、修正を求める声が多くある。改正案づくりからやり直せ。
都市整備部長 改正案は可能な限り区民意見を取り入れてまとめた。

生活者ネットワーク世田谷区議団
竹村 津絵議員

第5期介護保険事業計画の策定

質問 国の介護保険制度の改正に合わせ、区は次期介護保険事業計画を策定予定だ。実態調査により課題とニーズをとらえ、支援が必要な人を切り捨てない計画とせよ。
副区長 実態調査で現場の声や課題などをとらえ積極的に検討する。
予防型行政の視点からの環境対策
質問 区民の安全安心にかかわる環境問題こそ、予防型行政の視点で迅速に対応すべきだ。領域をまたがるアスベスト飛散問題などに対応するため縦割り行政を改めよ。
副区長 緊急時の体制整備を図るなど一層予防型の姿勢で対応する。
DV根絶に向けた取り組みの強化
質問 DVの根絶には子どものころからの人権教育が重要だ。区が新たな取り組みとして実施している出前形式による学校でのデートDV防止講座の今後の展開を示せ。
生活文化部長 教育委員会などと連携し、取り組みを一層進める。
ヒートアイランド対策の強化
質問 地球温暖化対策を強化すべきだ。区が環境基本計画調整計画にヒートアイランド現象への対策として掲げた「都市の風通しを良くすること」にどう取り組むのか。
環境対策室長 区民と事業者の理解を得ながら現象の緩和に努める。
リデュース、リユースの推進
質問 循環型社会構築のため、リサイクルより重要なリデュース（減量）とリユース（再利用）の促進に向けて一層の取り組みを行え。
清掃リサイクル部長 今後も2つのRに力を入れた取り組みを進める。
区民参加のまちづくりの推進
質問 街づくり条例の改正案は、区民参加の保障という点が不十分だ。この改正案で区は区民参加のまちづくりをどう再構築するのか。
都市整備部長 区民参画や区民と協働したまちづくりを一層進める。

せたがや政策会議
大庭 正明議員

区民主導による新たな基本構想

質問 策定以来16年が経つ区の基本構想は、昨今の著しい社会や区民意識の変化に対応できていない。区民参加の実践として、区民主導により新たな基本構想をつくれ。
政策経営部長 区の新たな検討課題となってくるものと考えている。
54億円の歳出削減策
質問 区の税収が下がるため、23年度予算編成では54億円の歳出削減が必要だ。区は12月までに具体的な歳出削減策を示せるのか。
政策経営部長 全庁を挙げて徹底した見直し作業を進める。
サービス公社の積立金の返還
質問 財政難により外郭団体に基金などの返還を求める自治体が増えてきている。区も21億円の積立金を持つサービス公社に返還を求めよ。
政策経営部長 積立金の区への寄付には税の問題などもあると聞く。
サービス公社の常識外れな支出
質問 スカイキャロットの実質的な運営会社の設立時に共同出資した企業が撤退する際に、公社は出資額90万円相当の株式を破格の4300万円で購入した。理由を示せ。
政策経営部長 簿価純資産法により算定した価額との報告を受けた。
スカイキャロットの経営状況
質問 サービス公社が指定管理者であるレストランスカイキャロットは、19、20年度と赤字続きで、利用者数もピーク時の半分以下だ。この状況に対する区の認識を示せ。
世田谷支所長 21年度は黒字を確保しており引き続き改善に努める。
スカイキャロットの運営の方向性
質問 スカイキャロットの実質的な運営会社は、出資企業の撤退という重大な経営変更を経ており、今後も運営を行う適性があるのか疑問だ。今後の方向性を示せ。
世田谷支所長 展望ロビーを含めた26階の一体的な運営を検討する。

- 本文中で使用している省略表記
- スポーツ振興部長
 〓 スポーツ振興担当部長
 - 保健所長
 〓 世田谷保健所長
 - 環境対策室長
 〓 環境総合対策室長
 - 拠点整備部長
 〓 生活拠点整備担当部長
 - 世田谷支所長
 〓 世田谷総合支所長
 - 支所
 〓 総合支所



出張所、保育園、あんしんすこやかセンターが入り9月にオープンした用賀複合施設(用賀2-29-22)

一 般 質 問

9月16日及び17日の本会議では、28名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

山口 ひるひさ議員(自 民)
新たなアートの推進
質問 経済状況の厳しい今こそ、世田谷らしい、区民の心を豊かにする施策の展開が必要だ。新せたがやアートの推進を着実に進め、まちの活力とにぎわいを生み出せ。
答弁 プランに3本の柱を掲げ、さまざまな事業に取り組んでいく。
ワークライフバランスの推進
質問 中小企業が多い世田谷の特色を踏まえてワークライフバランスを推進すべきだ。身近な商店街のイベントを通じて地域や企業に働きかけなど、着実に取り組め。
答弁 引き続き効果的なキャンペーンに取り組み、推進していく。
世田谷の生態系の保全
質問 多摩川で多くの外来魚が発見されるなど、人間による生態系の破壊が問題となっている。日本古来の自然環境を次世代に残せるよう、飼育マナーを一層啓発せよ。
答弁 最後まで責任を持って飼育するよう周知、啓発していく。

唐沢 としみ議員(社 民)
区民にわかりやすい政策点検手法
質問 事業点検に対する区民の努力を区民に理解してもらうには、わかりやすい手法とすることが必要だ。今回の政策点検は、これまでの政策評価などどう違うのか。
答弁 全事業を対象とし、これまでの実施手法の改善などを図った。
予算編成過程の可視化
質問 区民参画を一層進めるには、予算編成過程の可視化が必要だ。23年度予算編成で各部署の要求内容や査定作業を公開するなど、区政の透明性向上に向けて工夫せよ。
答弁 年末の予算編成状況の提示など、今後も情報の提示に努める。
区民の声を反映した事業見直し
質問 事業の見直しは、区民生活に影響を及ぼすものだ。点検に当たっては、まちづくりセンターなどが持つネットワークを生かして区民の声をきめ細かく集めよ。
答弁 的確に区民ニーズを把握し、事業見直しに反映するよう努める。

中塚 さちよ議員(民 主)
事業者選定のあり方
質問 あんしんすこやかセンターの運営事業者の再選定が23年度に行われる。株式会社社協の応募を認めなかった前回の状況などを踏まえ、どのような方針で選定するのか。
答弁 プロポーザルの実施のあり方を検討し、募集や選定を進める。
社会福祉事業団の改革の推進
質問 社会福祉事業団の改革を強力に進めるべきだ。特別養護老人ホームの権限譲渡でベッドが増床された他自治体の例を踏まえ、区からの多額の補助金支出を見直せ。
答弁 政策点検方針に基づき、事業団についても点検を進めている。
胃がんハイリスク検診の実施
質問 低調な胃がん検診の受診率向上に取り組むべきだ。手軽に受診できることから受診率向上が見込め、がん発見率も高いとされる胃がんハイリスク検診も導入せよ。
答弁 地区医師会と保健センターの協力を得て、検討を行っている。

石川 征男議員(自 民)
長期的視点での交通不便地域解消
質問 狭い道路が多い区内ではコミュニティバス路線の拡充は難しく、交通不便地域の早期解消は困難だ。新設道路も視野に、長期的視点でバスの走行環境を整備せよ。
答弁 道路整備に合わせた路線開設を目指して調整していきたい。
世田谷美術館へのアクセスの改善
質問 21年の定例会における世田谷美術館への交通アクセスの改善についての質問に対し、区は庁内検討会を立ち上げ検討していると答えた。その後の進捗状況を示せ。
答弁 利便性向上に向け、関係所管が連携して引き続き検討する。
区内産農産物の流通促進
質問 7月に実施した区内産農産物流通促進モデル事業は、区内産農産物と都市農業への区民の理解を促進する効果があった。実施結果を踏まえ、事業を一層拡充せよ。
答弁 農家などの協力のもと、今後の実施に向けて調整を進める。

問

ひうち 優子議員(世田谷)
サークル活動等の情報拠点の充実

質問 高齢者が地域活動に参加しやすくするため、サークル活動などの情報を提供する拠点を整備すべきだ。生涯現役情報ステーションの機能充実と地域展開を図れ。
答弁 まずは機能の充実を進め、地域展開は今後の課題としたい。

老人会館の名称変更

質問 生涯現役情報ステーションは老人会館内にあるが、老人会館という名称に抵抗感があり行く気にならないという区民もいる。名称変更か愛称付与を検討せよ。
答弁 愛称を設けることは、今後、多方面の意見を踏まえ研究する。

放置自転車の有効活用

質問 放置自転車対策ではコスト削減の視点が重要だ。民間を活用して処分対象自転車を効率的に整備し、再利用を推進するなど、放置自転車の一層の有効活用を図れ。
答弁 再生可能な自転車については、引き続き有効活用を図る。

小泉 たま子議員(政策)
地域での真のきずなづくり

質問 まちづくりセンターに相談に訪れる区民は少ない。まちづくり支援の強化をうたい出張所機能を見直したことで、かえって地域のきずなは弱まったのではないか。
答弁 今後も地域、家庭、行政のきずなの強化に取り組んでいく。

地区における個人情報の活用

質問 支援が必要な高齢者などを地域で確実に支えるために、区が保有する個人情報を活用すべきだ。必要なら条例を改正してでも、地区での個人情報の共有を進めよ。
答弁 個人情報保護条例に基づく適切な利用で地域力向上を図る。

区民にわかりやすい拠点づくり

質問 地区には、人の輪が広がり、活気がある中心拠点が重要だ。区立校の改築の際にまちづくりセンターを合築するなど、区民にわかりやすい拠点づくりに取り組め。
答弁 今後とも拠点づくりに向け必要な改善を適時適切に進める。

吉田 恵子議員(生 生)
平和施策の充実

質問 平和市長会議加盟を機に、23区で最多の被爆者が暮らす区として平和施策を充実すべきだ。区民の平和活動に合わせて広島や長崎の資料を展示する会を開催せよ。
答弁 戦争のない世界の実現に向け、世田谷らしい事業に取り組む。

世田谷型の子育ち子育て支援

質問 屋外での遊び体験の場は、子どもや親の交流の場に加え、地域の拠点ともなる重要な場だ。子育て子育て支援としての自然体験遊び場事業を一層充実せよ。
答弁 今後も子どもの自立を支援するため事業の充実に取り組む。

学童期の児童虐待への支援

質問 学童期の児童虐待には子どもへの直接的な支援が必要だ。朝の声をかけを初めとした登校支援や、試行中の子どもオープングループ事業などの今後の展開を示せ。
答弁 事業に従事する職員の研修を充実し、事業の質の向上を図る。

高久 則男議員(公 明)
地域資源を生かした観光施策

質問 世田谷の観光施策を一層発展させるべきだ。松陰神社や代官屋敷などの地域資源をテーマ別にめぐるコースを整備するなど、地域密着型の観光施策を推進せよ。
答弁 今後も地域の盛り上がり、観光の軸となるよう支援する。

国有地を活用した介護施設の整備

質問 今後の高齢社会で一層必要とされる介護施設の整備が、土地の確保が困難なため進んでいない。定期借地権の利用などで国有地の活用を図り、介護施設を整備せよ。
答弁 介護サービス事業者の意向などを聴取して積極的に検討する。

入札制度への労務管理評価の導入

質問 公共工事などは、従事する労働者の労働条件が適正に確保されることで品質が保たれる。総合評価競争入札の評価項目に企業の労務管理への取り組みを入れよ。
答弁 仕組みの研究も含め、適正な契約制度の運用に努める。

中村 公太郎議員(民主)
政策点検方針の実効性の向上

質問 区の政策点検方針の実効性を高める取り組みが必要だ。23年度予算原案の作成前に全施策の点検結果を公表し、予算編成に区議会での議論や区民の声を生かす。
答弁 点検結果を踏まえた取り組みを予算編成状況とともに示す。

24時間パトロールの見直し

質問 24時間安全安心パトロールの費用対効果が不明確だ。全庁有車をパトロール車と同じ白黒に塗装して犯罪抑止効果を高め、委託によるパトロール経費を削減せよ。
答弁 庁有車は特定目的の地に向かうため代替とすることは難しい。

子どもの自殺への対策

質問 自殺が社会問題となる中、子どもの自殺も目立ち始めている。学校でのささいなきっかけも見過ごすことなくきめ細かく対応し、子どもの自殺防止に全力を挙げよ。
答弁 子どもの自殺防止に向け、学校への働きかけを一層強化する。

上杉 裕之議員(民主)
生物多様性の視点での環境保全

質問 自然環境の保全が急務だ。人工的環境と自然的環境の理想的比率を6対4までとする生物多様性の考え方を取り入れ、区内の農地と屋敷林の保全策を確立せよ。
答弁 みどり33を推進し多様な生物を多く含む環境づくりを進める。

訪問支援による精神障害者の支援

質問 国は23年度概算要求に訪問支援による精神障害者の支援体制の確立を盛り込んだ。精神疾患対策推進計画を策定し、区内でのパiroット事業の実施を国に求めよ。
答弁 国や都の動向を見定め、基礎的自治体の立場から検討する。

熟議が必要な街づくり条例の改正

質問 街づくり条例の改正案にはさまざまな意見が出ており、改正内容も区民参画の保障の点で不十分だ。性急な条例改正の提案を見送り、熟議のための時間を設けよ。
答弁 多くの区民の参加や提案を踏まえて条例改正を提案した。

木下 泰之議員(無党派)
小田急騒音訴訟判決への区の見解

質問 小田急線の鉄道騒音訴訟に對して損害賠償命令を伴う判決が下され、騒音に対する受忍限度も具体的な数値で示された。判決への熊本市長の見解・感想を示せ。
答弁 基準のない在来線の騒音に、司法判断がなされたものと考ええる。

騒音対策と鉄道連立の地下化促進

質問 騒音訴訟判決は環境基準さえなかつた在来線鉄道騒音に画期的だ。鉄道地下化が推奨されるべき。小田急騒音対策や京王線連立事業、アセスをどう考えるのか。
答弁 鉄道事業者や国、都が適切に判断して進めるものと考ええる。

小田急線駅舎説明会の広報の実態

質問 小田急線下北沢地区3駅の駅舎は区民意見募集はしたものの、肝心の説明会は周辺20m範囲のみで広報を限り、区議会に存在さえ秘匿した。区長の説明責任を問う。
答弁 周知範囲内に所在地がある区議には事業者が知らせている。

上川 あや議員(虹)
代読・代筆サービスの周知の徹底

質問 大半の視覚障害者が在宅での代読・代筆サービスを使えると知らず、郵便物の理解にさえ困っている。当事者が知らない支援策など無意味。情報提供を徹底せよ。
答弁 視覚障害者団体やホームヘルプ事業所などに周知を徹底する。

移動介助の派遣制限を緩和せよ

質問 障害者の自立支援に力を入れると言いつつ、障害者の通勤・通学・経済活動にガイドヘルパー派遣を認めない区の姿勢は明らかに矛盾している。改めるべきだ。
答弁 ガイドヘルパーの派遣の改善は、今後の検討課題とする。

生活保護受給者の身分証の確保

質問 生活受給者は制度上、健康保険証を取り上げられるため、運転免許証がなければ身分証明にすら困ってしまう。これに代わる住基カードの発行手数料を減免せよ。
答弁 生活保護制度の趣旨などを踏まえ関係所管が連携し検討する。

大場 やすのぶ議員(自 民)
電気軽自動車タクシーの導入

質問 狭い道が多い区内では区民の交通手段として軽自動車タクシーが有効だ。タクシーとして認められた電気軽自動車の導入を区内タクシー事業者に呼びかけよ。
答弁 導入事業者にはヒアリングを行い、呼びかけについて検討する。

エコ区役所づくりの推進

質問 4月から区役所にエネルギー削減に取り組むことが義務づけられた。事業執行のあり方や職員の働き方の見直しなどを含め、エコ区役所づくりを一層推進せよ。
答弁 新たなエコ区役所の構築に向け、全力を挙げて取り組む。

住宅のエコ化推進への支援

質問 区内で最もCO2排出量が多い、家庭からの排出量の削減が急務だ。太陽光発電設備の普及促進など、区内産業活性化にもつながる住宅のエコ化推進への支援を一層行え。
答弁 区民の取り組みの誘導、支援策を関係所管と連携し検討する。

鈴木 昌二議員(自 民)
二子玉川まちづくりの一層の推進

質問 二子玉川地域は自然環境や商業施設、歴史的資産などの社会資源が豊富だ。これらの社会資源を生かして地域の魅力を一層高めるソフト面のまちづくりを進めよ。
答弁 二子玉川の魅力を高め、地域主体のまちづくりを支援する。

連続性のある情操教育施策

質問 幼児期から高校、大学にかけての情操教育に連続性を持たせることが重要だ。教育委員会と文化財団とで役割分担と一層の連携を図り、情操教育施策を充実せよ。
答弁 今後も相互の適切な役割分担と連携により講座の充実を図る。

子どもの情操教育の推進

質問 子どもの情操教育を一層推進すべきだ。世田谷区文化・芸術振興懇話会で情操教育に貢献している文化財団や区内の芸術家などに意見を求め、施策推進に生かす。
答弁 懇話会などを活用し、委員に意見をもらうことも検討する。

平塚 敬二議員(公 明)
災害時要援護者支援事業の拡充

質問 災害時要援護者支援事業を全区展開すべきだ。区が地域の支援者である町会や自治会などと要援護者を取り持つパイプ役となり、地域の助け合い活動を促進せよ。
答弁 事業の普及と地域の主体的な取り組みへの支援を一層行う。

若林中跡地の有効活用

質問 廃校となる若林中の跡地を有効活用すべきだ。保育園と高齢者施設の複合施設の整備など、今後高まる福祉ニーズに対応するためにあらゆる活用の可能性を探れ。
答弁 将来の施設需要の見込みなどを踏まえ活用策を検討していく。

マンション管理の支援の強化

質問 居住者の高齢化で管理の崩壊が進むマンションがふえていると聞く。マンション管理士を積極的に活用し、適切な施設維持や管理運営への相談支援を強化せよ。
答弁 関係団体などの協力を得ながら新たな支援策の検討を進める。

畠山 晋一議員(自 民)
住環境に配慮した補助26号線整備

質問 都が整備を進めている都市計画道路補助26号線には周辺道路の混雑緩和や安全性の向上などが期待されており、早期完成が望まれる。井の頭線との交差点の構造が検討段階にある今、住環境に配慮して鉄道の下をくぐるアンダーパスでの整備を都に求めよ。
答弁 住環境に配慮し、地形に無理のない構造形式を早期に決定して事業に着手するよう要望する。

町会や自治会の負担軽減

質問 区内の町会や自治会は加入率が低く体制も縮小傾向にある中で、避難所運営訓練やごみの地区回収への協力など区からの依頼事項はふえるばかりだ。町会や自治会が担う地域の活性化への活動を滞らせないためにも、組織の体制に見合うよう依頼事項を整理せよ。
答弁 まちづくりの重要なパートナーと認識しており、負担軽減に配慮して連携と協働を図る。

一

般

質

問

青空 こうじ議員(無所属)

姉妹都市との永続的な交流

国際友好に意義のある姉妹都市交流を末永く続けていくための取り組みが必要だ。現地の日系人協会構成員の高齢化などを踏まえ、幅広い世代との交流を進めよ。

答弁 幅広い世代との交流が進むような取り組みについて検討する。

妊娠期からの児童虐待防止策

児童虐待の区への相談件数はふえており、虐待防止策の強化が重要だ。虐待による死亡事例の約6割が0歳児である状況を踏まえ、妊娠期からの対策に力を注げ。

児童虐待の予防策の強化

望まない妊娠の場合、妊婦検診の未受診や妊娠届の未届けのケースが多く児童虐待につながる危険性が高い。望まない妊娠の予防策を講じ、虐待防止につなげよ。

答弁 妊娠をめぐる生活全般への相談事業を進め虐待防止に努める。

一般

重政 はるゆき議員(民主)
家族介護者支援の仕組みの構築
介護疲れの原因とした悲惨な事件が後を絶たない。要介護者の介護の60%以上を同居家族が担っている現状を踏まえ、家族介護者支援の仕組みを早急に構築せよ。

答弁 国の動向にも留意し、介護サービスの充実に一層努める。

退職職員の天下り先の公表
先の定例会を含め、これまで何度も退職職員の再就職先を一括公表するよう求めてきた。公表方法の細部などは別として、23年の4月に区は公表に踏み切ったのか。

答弁 23年度については、区のホームページでの公表を考えている。

口ききやあつせんの文書化

議員などから寄せられた提言や要望を文書化して情報公開の対象とすれば、透明性の確保などにつながる。区が受けた口ききやあつせんのすべてを文書化せよ。

答弁 他自治体の動向なども参考にしながら研究していきたい。

藤井 まな議員(民主)

地域の防犯力向上への取り組み

地域の防犯力向上には地域のつながる力の向上が重要だ。町会などの地域の人材を世田谷版防犯診断士として育成し、防犯力向上と地域のつながりの強化を図れ。

答弁 防犯リーダーの知識の充実などを図り地域力向上につなげる。

指定管理者への労務監査の導入

指定管理者の運営の質や労働条件の悪化を防ぐ取り組みが必要だ。第三者の評価も取り入れて指定管理者の労働条件などを点検するモニタリング制度を導入せよ。

区立校の情報発信力の強化

区立校の情報発信力は私立に比べて弱い。区立中のホームページで地域との連携事例や地域の小学生に向けた校内情報などを発信し、区立校の魅力をもPRせよ。

答弁 ホームページの内容の充実を図り、情報を積極的に発信する。

村田 義則議員(共産)

二子玉川地区の浸水被害への対策

二子玉川再開発事業で整備予定の高さ約7mの人工地盤により、洪水の危険は一層高まる。専門家も指摘している。事業完了後の浸水の危険度を早急に調査せよ。

答弁 周辺地区における水害リスクは高まるのではないかと考える。

新BOP登録児童数急増への対策

区内には登録児童100人を超える新BOPが複数存在し、安全面などを不安視する声がある。保育需要の増加に伴う登録児童の急増を見据え、早急に対策を講じよ。

介護施設での磁気ループの普及

難聴により生活に不便を感じる高齢者への対策を一層進めよう。補聴器の機能を補完する磁気ループの導入が介護施設で進むよう、区が設置費用を助成せよ。

答弁 介護事業者の意見などを聞いた上で、今後の研究課題とする。

岡本 のぶ子議員(公明)

知的障害児の療育施設の整備拡充

知的障害児が就学後も療育を受けられるよう環境の充実を図るべきだ。発達障害児の療育を担う発達障害相談・療育センターと同等の療育機関の整備を実現せよ。

答弁 就学後の療育は、新たな障害福祉計画の策定の中で検討する。

要配慮児童生徒の放課後対策

配慮を要する児童生徒の放課後の活動の場となる施設は、区内に5カ所しかなく不十分だ。放課後の居場所の確保に向け、タイムケア事業を行う施設をふやせ。

若者サポートステーションの周知

若者の就労を支援する若者サポートステーションの利用者実績が低迷している。支援を必要とする若者に取り組みが伝わるよう、身近な商店街などで周知を行え。

答弁 関係機関などと連携し、若者に情報が届くよう取り組む。

杉田 光信議員(公明)

川場村とのさらなる交流

区と川場村は昭和56年に緑組協定を結び、一体となつてまちづくりを進めてきた。来年度に締結30周年を迎えることを機に、交流をさらに深めて発展させよ。

答弁 縁組協定の理念を継承し、着実な取り組みを進める。

自転車保険の加入促進

自転車事故が発生した場合、自転車利用者側が高額の賠償責任を負わされることがある。自転車事故がふえる中、区は自転車保険への加入の必要性を周知せよ。

自転車走行環境のさらなる整備

既存道路の拡幅による自転車走行空間の新設は困難な状況だ。鉄道連立事業に伴い創出される連続的スペースを活用し、自転車走行空間のネットワークの強化を図れ。

答弁 自転車等の利用に関する総合計画に基づき整備を進める。

羽田 圭一議員(社民)

厳しい財政状況下での景気対策

長引く景気の低迷により中小企業では苦しい経営が続いている。区民生活の向上や地域産業の活性化に向け、厳しい財政状況の中でも、有効な景気対策を進めよ。

答弁 今後の経済情勢を見きわめ、実効性ある対策を適時適切に行う。

地域コミュニティの強化

地域コミュニティの弱体化により、生活に困窮しながら行政の支援策を知らずに孤立する区民がいる。必要な支援に結びつけられるよう地域での体制を強化せよ。

事前調整制度の対象範囲の拡大

街づくり条例改正案にある建築構想の事前調整制度の対象規模は、敷地面積300㎡以上に限定されている。建築紛争を減らすため、対象範囲を拡大せよ。

答弁 対象外の建築物についても、既存の各種条例を活用し対応する。

一

山木 きょう子議員(生ネ)
精神疾患患者への訪問支援
精神疾患患者が急増しており対策が急務だ。他自治体の例を参考に、多職種の専門家がチームとなり、患者のもとに向いて対応する訪問支援の体制を整備せよ。

稲垣 まさよし議員(みんな)
職員の超過勤務手当の削減
長引く景気の低迷による区での税収減は今後も続くことが予想され、一層の経費削減に取り組むことが必要だ。職員の超過勤務手当の実績がここ数年横ばいである状況踏まえ、さらなる業務の効率化や職員配置の見直しを行うなど、超過勤務手当の削減に努めよ。

あべ 力也議員(減税)
携帯情報端末を活用した情報発信
地域の活性化を図るため、新たな情報発信システムを構築すべきだ。産業振興公社や民間などと連携し、携帯情報端末を活用した区内産業の情報発信を行え。

山内 彰議員(自民)
姉妹都市交流の意義
ウイニベグ市姉妹都市提携40周年記念親善訪問は、互いの文化の理解促進や人権問題の重要性の再認識への契機となり、とても有意義だった。区の見解を示せ。

岸 武志議員(共産)
生活保護世帯への熱中症対策
今夏の熱中症による死亡者の多くは経済的、体力的に弱い方であった。生活保護世帯への冷房機器の設置の推進や保護費への夏期電気代の加算などを国に求めよ。

する会派等の意見

決算特別委員会での質疑・要望や、本会議で表明された21年度決算に対する各会派等の意見の一部を要約してお伝えします。

本会議での意見表明者

- 自由民主党世田谷区議団……上島よしもり議員
- 公明党世田谷区議団……杉田 光信議員
- 世田谷区議会民主党……西村じゅんや議員
- 日本共産党世田谷区議団……里吉 ゆみ議員
- 生活者ネットワーク世田谷区議団……桜井 純子議員
- せたがや政策会議……田中 優子議員
- 社会民主党世田谷区議団……羽田 圭二議員
- 無党派市民……木下 泰之議員
- 減税世田谷……あべ 力也議員
- みんなの党せたがや……稲垣まよし議員
- レインボー世田谷……上川 あや議員
- 世田谷無所属の会……ひうち優子議員
- 無所属……青空(うじ)議員

厳しい財政状況を見通し 行財政改革をさらに推進せよ

自由民主党世田谷区議団
(すべての会計に賛成する意見)

円高基調や株価の下落などを背景に景気が減速局面を迎え、地域経済への多大な影響が懸念される。区の21年度決算では、特別区税と特別区交付金の合計額が前年度比で約15億円減少しており、今後も区の財政は厳しい状況だ。この状況にあっても、区が安全安心まちづくりや子育て支援などの重要な課題に取り組み、引き続き健全財政を維持することは評価する。

区の歳入が減少する一方で、社会保障関連経費は増加傾向にある。厳しさを増す財政状況を見通し、区が取り組むべきことは何かとの視点を持って今後の施策の見直しを進めよ。厳しい経済状況であっても、必要性の高い事業は起債を活用してでも着実に実施せよ。これまで以上に思い切った行政改革に踏み込むとともに、税外収入の確保や負担の公平性の観点に基づく債権管理の一層の徹底などにより、積極的に歳入を確保せよ。以下、具体的な施策について意見を述べる。

備蓄品の充実などを進めるとともに、実践的な防災対応型防災訓練の実施を拡大するなど、地域の防災力の一層の向上に取り組み。

区内中小企業へのさらなる支援策として、融資制度の拡充や公契約における区内事業者の育成を図る仕組みの確立、ものづくり技術の継承の支援などを行え。

一般住宅での省エネ化の促進にむけて、エコ住宅づくりへの補助の拡充や住宅展示場と連携した区民への意識啓発などに取り組み。

だれもが気軽にスポーツを楽しむことができる環境の整備は、地域の活性化や区民の健康づくりの点から重要だ。二子玉川緑地運動場の少年野球場などの充実や、東京国体の開催を契機とする区民のスポーツ活動への参加意欲を一層高める取り組みなどのスポーツ振興策をさらに推進せよ。

老老介護の増加などにより、今後在宅介護が困難な世帯がふえていく。高齢者がいつまでも地域で安心して暮らせるまちの実現に向けて、介護者支援策の強化や地域密着型サービス拠点の整備推進、地域住民などと連携した高齢者見守りシステムの構築などに取り組み。

障害者の特性に応じた就労支援策の展開や関係機関との連携による相談機能の充実などにより、障害者の地域生活をさらに支援せよ。

保育施設の整備に当たっては、国有地や公有地の活用を図れ。今後の保育需要の推移などを予測し、既存施設の保育施設への転用や企業内保育の促進などの多様な手法で保育待機児の解消に取り組み。

局地的な豪雨への対策が必要だ。区内の河川の整備や透水性舗装による道路整備、一般住宅への雨水浸透設備の設置促進などにより、雨水流出抑制策を一層進めよ。

二テイスイクルのネットワークを強化せよ。増加している自転車事故を防ぐため、走行環境の整備や安全運転に関する周知を一層行え。

23年度から全区立小で試行される世田谷9年教育のカリキュラムの中で、豊かな人間性を育てる道徳教育や中学校での英語学習に円滑につなげる英語活動、区内在住の専門家の教育現場での活用などを推進せよ。子どもの責任感や連帯感を養う部活動の活性化に保護者などと連携して取り組み。

郷土の歴史や文化を将来に引き継ぐため、文化財保護制度をさらに充実せよ。子どもの体力向上につながるスポーツ活動の場を拡充せよ。

生活保護世帯の増加など、区民の生活悪化が急速に進んでいる。区民の暮らしと福祉を守るべきときに、莫大な予算を二子玉川再開算に次々と切り捨てるなど、区は区民の切実な声にこたえていない。区民の願いに真摯にこたえ、区政の実現に向け、以下を要望する。

健診事業の有料化はやめよ。Hi iワークチンなどの接種費用を助成せよ。特養ホームなどの高齢者施設や認可保育園をふやせ。保育室などを十分支援せよ。学童クラブを拡充し、登録児童の急増に対応せよ。障がい者の介助サービスを充実し、ケアホームも増設せよ。

区立校の30人学級と学校図書館への図書配置を実現し、トイレ改修を進めよ。過度な競争を招く世田谷版学力テストはやめよ。国保料などへの負担軽減制度を拡充せよ。住宅リフォーム助成を拡充し、区内事業者の仕事起こしと雇用拡

大を図れ。公契約条例を制定せよ。区民の参加と提案によるまちづくりを進めよ。CO₂排出削減と廃プラスチックリサイクルを推進せよ。

地域行政制度を充実させるため、各総合支所に土木課を再設置し、出張所を以前の27カ所に戻せ。

梅ヶ丘病院跡地には思春期の精神医療機関と不足する特養ホームや障がい者支援施設を整備せよ。また、整備に係る莫大な費用を踏まえ、区の負担軽減策を検討せよ。

区は21年度に、緊急総合経済対策や保育サービスの待機児解消など、喫緊の課題に着実に取り組んだ。また、男女共同参画担当課の設置など、男女共同参画社会の実現を前進させる取り組みも行った。これらを評価し、全会計に賛成する。23年度も区民一人ひとりに配慮した施策を優先的に進めよ。

高齢者の在宅生活を支えるため、世田谷型の福祉を一層推進せよ。インクルーシブ教育の理念に基づき特別支援教育を進めよ。また、就学援助の充実に取り組み。

児童相談所機能の区への移管を見据えた取り組みを進めよ。若者への総合的な支援策を展開するための専管部署を設置せよ。DV防止基本計画の策定とDV被害者支援相談センターの設置、デートDV防止講座の拡充を行え。大気汚染を区民の健康問題と捉え、改善のための施策を展開せよ。ごみの減量や再利用の「2R」を進めるとともに、容器包装プラスチックの資源回収を拡充せよ。改正された街づくり条例のもとで区民参画がどのように進むかを、常に区民の視点から検証せよ。

騒音訴訟判決に無反応は職責失格 (すべての会計に反対する意見)

無党派市民

区民の健康と環境を守るべき区長が騒音受忍限度を初めて示した小田急線騒音訴訟判決に無反応なのは驚く。職責失格。騒音問題からも京王線は地下化せよ。連立事業の手順、調査書や会議録不存在的是非等の問いに、不誠実な答弁に終始する熊本区政は不信任だ。

区民一人ひとりに配慮した
きめ細かな施策を展開せよ

精神障害者への総合的な支援策を講じよ。先進的ながん対策の推進に向け関係条例を制定せよ。生物多様性の保全に向けた環境教育の充実や若者の雇用対策、自転車走行環境の整備、税外収入の確保に力を注げ。選挙管理委員の報酬は議会が日当移行を判断すべきだ。

今後の厳しい財政状況を見据えた取り組みが必要だ。全施策点検の結果をもとに施策の見直しの優先順位を明確にせよ。職員配置を見直して超過勤務手当を削減せよ。子ども医療費助成への所得制限の導入を検討せよ。国に先んじて区がさらなる緊急経済対策を講じよ。

誠実に職務に励む職員が報われる組織づくり、区政の無駄を省くと同時に必要な投資も怠らない区政運営、多様な区民がいることを前提とした区民一人ひとりに配慮した事務執行を求めよ。きめ細やかな気配りと豊かな発想を持って行政サービスの改善に努めよ。

将来を見据えた区政運営を行え (すべての会計に賛成する意見)

世田谷無所属の会

高齢者施策を充実すべきだ。地域のさまざまな強化を図れ。区施設に高齢者の集いの場をつくれ。高齢者の力を教育に生かす取り組みを進めよ。高齢者が生き生きと過ごすためにサークル活動等の情報提供の場の充実を図れ。介護休業を取得しやすい環境づくりを行え。

感謝の心を忘れない風土をつくれ
無所属

常日頃の職員の地道な取り組みが区政を支えている。管理職はこのことを認識し、感謝の気持ちを持つことが必要だ。職員を褒めて育てるといふ発想を持ち、地道に頑張っている職員をしっかりと評価するとともに、感謝の気持ちを忘れない風土づくりに取り組み。



決算特別委員会での採決の様子

21年度決算に対

決算特別委員会の質疑の模様をホームページで生中継・録画中継しています。
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>
議会中継をクリック！

限られた財源を効果的に活用し
 安定した区政運営に取り組み

公明党世田谷区議団

（すべての会計に賛成する意見）

一般会計における障害者の自立支援や子育て支援などの課題に対応するための予算配分及び新型コロナウイルス感染症への補正予算を組んでの迅速な取り組みなどを評価する。また、緊急総合経済対策としての小口零細資金緊急特別融資の創設、複合型子ども支援センターの開設や子育てステーションの各地域への整備が実現されたことは大きな成果だ。さらに、21年度一般会計決算で実質公債費比率が前年度より改善されたことを財政指標の健全化の面から高く評価する。

しかし、22年度以降は一層の歳入減が予測され、限られた財源をより効果的、効率的に活用した区政運営が不可欠だ。税外収入につながる取り組みや外郭団体への補助金の見直しを強化し、将来に向けて安定した財政運営を行え。政策検証委員会の提言や政策点検の結果を23年度予算編成に反映せよ。以下、個別具体的な課題について意見を述べる。

高齢者対策では、高齢者の住まいの確保と地域で孤立させない見守りネットワークの構築が喫緊の課題だ。適切な負担で入居できる世田谷版低所得高齢者専用住宅の整備を実現するとともに、区が主軸となった見守り事業をモデル地区で実施し、早急に27地域に展開せよ。また、保育サービスの拡充も急務だ。保育の質を確保して保育定員拡大に着実に取り組むとともに、子育て支援マンシフト認証制度の活用促進や企業内託児所への支援などの側面的な支援にも全力を挙げて取り組め。さらに、肺炎球菌ワクチンなどのワクチン接種への公費助成を区長は英断せよ。

増加する児童虐待への対策が必要だ。児童虐待対策支援チームの体制の強化を図るとともに、虐待防止に一層取り組みため、第2の産後ケアセンターの開設も視野に、さらなる支援策を講じよ。

不況の中、事業者の努力だけでは産業の活性化は難しく、区が主軸となり新たな産業政策に取り組みが必要だ。ポイントカードシステムなどを活用した新たな活性化策を大胆な発想で展開せよ。

環境対策は喫緊の課題であり、区は環境負荷の低いスマートシティの実現に取り組むべきだ。自然エネルギーや再生可能エネルギーの導入、ナイトパージなどの新たな熱負荷削減手法の採用により公施設等の環境負荷低減に取り組み。幼児教育の確立は重要な課題だ。

世田谷9年教育の本格実施を踏まえ、就学前教育について今後十分に議論を重ねよ。また、就学前教育や障害児教育の根幹を担う幼児教育センターを創設せよ。

不登校対策では、児童生徒一人ひとりの状況に応じたきめ細やかな支援が必要だ。個別支援などを通じて集団適応能力の発達を促し、学校生活への復帰を支援する第3のほっとスクールを整備せよ。

聖域なき事業見直しを確実に進め 効果的な区政運営を行え

世田谷区議会議民民主党

（給食会計には反対、その他の会計には賛成する意見）

不透明な経済情勢のもとで厳しい行財政運営が迫られる中、我々は区の聖域なき経費削減の取り組みを監視しなければならぬ。世田谷版事業仕分けとして注視した政策検証委員会は区主導で行われ、骨抜きとなり残念だ。政策点検方針に基づく点検結果を早急に公開するとともに、税外収入を確保するための新たな試みにも取り組め。

以下、個別具体的な施策について意見を述べる。

費用対効果の視点を重視し、公施設の有効活用や広報の充実などに取り組め。また、外郭団体の改善が急務だ。我が会派の指摘により外郭団体への天下り職員をホームページで公表するとしたことは前進だが、さらに外郭団体の統廃合や区の派遣職員の削減、団体の固有職員の育成にも取り組め。

CO₂排出量の削減に向けた高断熱エコ住宅の促進、生物多様性の維持、区民主体のリサイクルの推進、公衆浴場の振興策の拡充などに民間事業者と協働して取り組め。福祉拠点としての梅ヶ丘病院の跡地利用のあり方について、関係団体などとの意見交換の場を設けて再検証せよ。保育待機児の解消に向け、保育定員の拡大目標を確実に達成するとともに、保育事業者選定の際の公平性と透明性を確保せよ。家族介護者の実態調査を早急に進めよ。精神疾患に対する正しい知識の普及啓発に努めよ。

大規模な再開発や鉄道連立事業の際には、歩行者と車が共存できるまちづくりを推進せよ。交通不便地域の解消に一層取り組み。防災の観点から、防災街づくりに資する街づくり用地を確保するとともに、公園整備の際は大学や学術団体などの連携を図れ。

区立小の適正配置に取り組み。学校の改築選定基準の透明性を確保せよ。子どもの安全安心対策を強化せよ。研修体系を強化するなど、教員の資質向上を図れ。

給食会計については、管理体制の不備による不適切な食材購入の事実が我が会派の指摘により明らかになった。20年度にも約1600万円もの歳出超過があり、教育委員会の組織自体に問題があると認識している。教育委員会内部からの改革を強く望むという意味で給食会計の決算認定には反対する。

できない理由を列挙する姿勢から
 実現の可能性を探る区政に改めよ

せたがや政策会議

（すべての会計に賛成する意見）

手続に違法性がなければ経済性を問わない区の業務に対する姿勢は放漫財政につながる問題だ。梅ヶ丘病院跡地利用では、民間参入が不可欠なことを見据えるなど、経済性も重視した区政運営を行え。

かつてない財政難のもとで行政サービスを提供するには、従来の発想や行動を打ち破る姿勢が不可欠だ。かつて我が会派が畦畔の問題について訴訟によらない解決を求めた際には、区は困難である理由を列挙していたが、このたびの条例改正で取得時効の取扱基準策定が実現した。この例を区は肝に銘じ、取りかかる前からあきらめることなく、あらゆる手を尽くして課題解決に向けた可能性を追求すべきだ。議会や区民からの提案に対し、できない理由ではなく可能とする方策を真剣に探る「すぐ取りかかる課」を創設せよ。

社会的、経済的危機の中にあっても福祉の向上を目指すことが区の役割と認識した区政運営を行え。子どもや高齢者の命と健康を守る施策に最優先に取り組め。区内共通ポイントカードの発行などで区内産業の活性化を図れ。社会保障政策の充実により雇用の安定化を図れ。予算編成過程などの公表を通して区民参画を進めよ。福祉のまちづくり推進に向けた事業を一層展開せよ。就労支援にとどまらない総合的な青年政策を実現せよ。街づくり条例改正の過程で指摘された課題の改善に取り組め。

危機に立ち向かう区政運営を行え

社会民主党世田谷区議団

（すべての会計に賛成する意見）

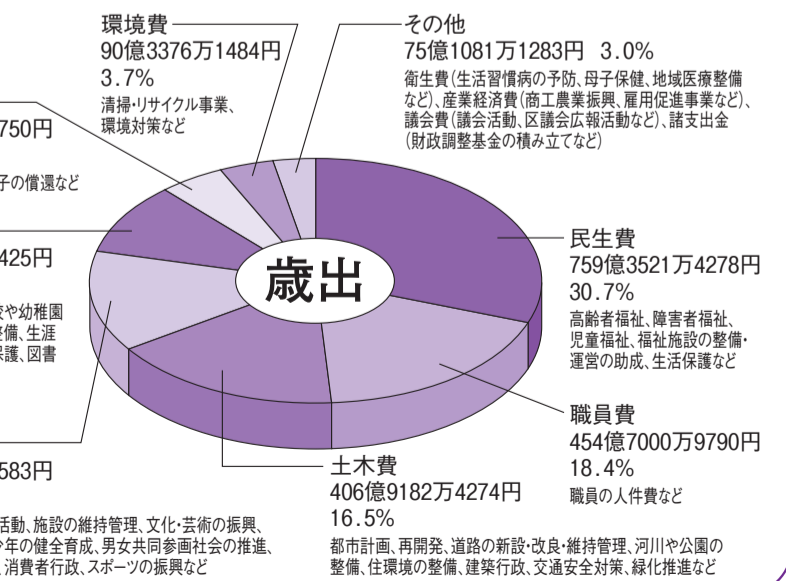
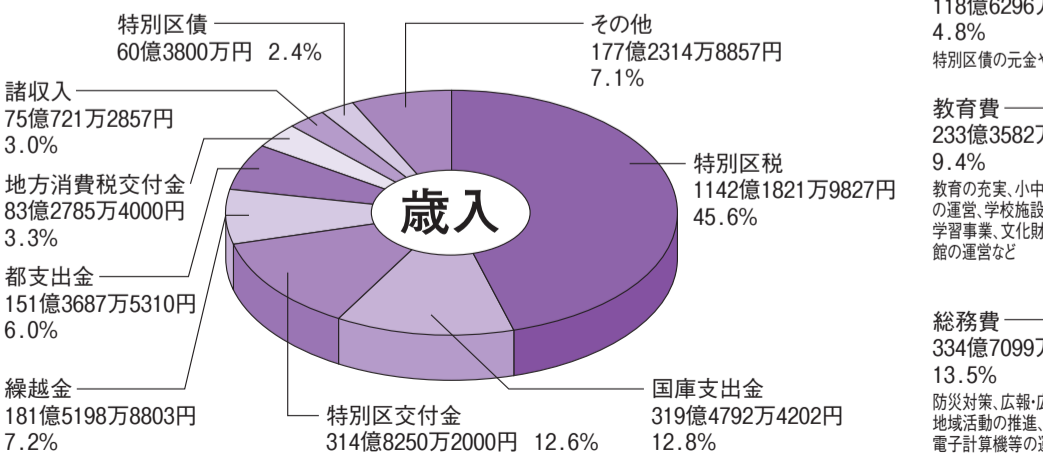
（この欄は上記の意見と重複する内容のため省略）

平成21年度 決算のあらまし

●平成21年度各会計決算額●

	歳入決算額	対前年度比増減率	歳出決算額	対前年度比増減率	歳入歳出差引額
一般会計	2505億3372万5856円	0.2%	2473億1140万9867円	6.7%	32億2231万5989円
特別会計	3826億8452万4291円	-1.0%	3764億6857万4292円	3.2%	62億1594万9999円
国民健康保険事業会計	746億3549万1628円	-2.7%	721億5410万5516円	-1.4%	24億8138万6112円
後期高齢者医療会計	145億6160万291円	7.6%	144億9908万3261円	7.9%	6251万7030円
老人保健医療会計	5億1923万1115円	-91.2%	5億1244万7533円	-91.3%	678万3582円
介護保険事業会計	422億5185万8709円	4.8%	418億950万5371円	4.0%	4億4235万3338円
中学校給食費会計	1億8261万6692円	-13.6%	1億8202万2744円	-13.8%	59万3948円

一般会計決算の内訳（％＝構成比）



第4回定例会は11月24日から12月3日まで開催する予定です

議会日誌

閉会中に開催された委員会

- 6月18日(金) 議運
- 30日(水) 企画、区民、文教
- 7月1日(木) 福祉、都市
- 5日(月) 議運
- 14日(水)～15日(木) 区民(視察)、福祉(視察)
- 15日(木)～16日(金) 企画(視察)、都市(視察)、文教(視察)

- 27日(火) 分権
- 28日(水) 企画、区民、文教
- 29日(木) 福祉、都市
- 8月24日(火) 議運
- 9月2日(木) 企画、区民、福祉、都市、文教
- 3日(金) 企画、区民、福祉、都市
- 6日(月) 分権、オウム、清掃、交通
- 7日(火) 議運

会期中の主な会議日程

- 9月15日(水) 本会議(代表質問)、議運
- 16日(木) 本会議(代表質問、一般質問)
- 17日(金) 本会議(一般質問、議案の付託、請願の付託など)、議運、決算
- 21日(火) 企画、区民、文教
- 22日(水) 福祉、都市
- 24日(金) 分権、オウム、清掃、交通
- 28日(火) 本会議(議案の議決など)、議運、企画
- 10月1日(金) 決算(総括質疑)
- 4日(月) 決算(企画総務委員会所管分)、企画
- 6日(水) 決算(区民生活委員会所管分)
- 7日(木) 決算(福祉保健委員会所管分)
- 12日(火) 決算(都市整備委員会所管分)、企画
- 13日(水) 決算(文教委員会所管分)
- 15日(金) 決算(補充質疑)
- 20日(水) 本会議(議案の議決、請願の付託など)、議運

委員会名称

- 企画=企画総務常任委員会
- 区民=区民生活常任委員会
- 福祉=福祉保健常任委員会
- 都市=都市整備常任委員会
- 文教=文教常任委員会
- 議運=議会運営委員会
- 分権=地方分権・庁舎問題等対策特別委員会
- オウム=オウム問題・災害・防犯等対策特別委員会
- 清掃=清掃・リサイクル対策特別委員会
- 交通=公共交通機関対策等特別委員会
- 決算=決算特別委員会

○(1ページからの続き)
鳥山北小学校改築工事
(全員賛成)

工事名	相手方・契約金額
改築	大明・太平洋建設共同企業体 一四億八九五万円
電気設備	大雄・宮崎建設共同企業体 一億七四五万円
空調調和設備	大橋・杉田建設共同企業体 二億三九四〇万円

○仮称玉川四丁目アパート新築・玉川保育園改築工事
(全員賛成)
相手方=株式会社山福建設
契約金額=三億七、二五九万二千五百円
工事概要=地上3階建「玉川四丁目アパート」住戸22、管理事務室など
「玉川保育園」1、5歳児の各保育室、遊戯室など

○区民会館
(全員賛成)
施設名称 世田谷区民会館
指定管理者 株式会社世田谷
北沢区民会館別館 サービス公社
玉川区民会館 アクティオ株式会社
北沢区民会館 株式会社共立
○地域体育館・地区体育室
(全員賛成)
施設名称 指定管理者
北鳥山地区体育室 株式会社
リパティビル

みどり会館
施設名称 指定管理者
株式会社JA東京中央
セレモニースター

○知的障害者生活寮
(全員賛成)
施設名称 指定管理者
松原けやき寮 社会福祉法人東京都
知的障害者育成会

○高齢者在宅復帰施設
(全員賛成)
施設名称 指定管理者
高齡者在宅復帰 社会福祉法人
施設ほのほの 古木会

○特別養護老人ホーム等
(全員賛成)
施設名称 指定管理者
特別養護老人ホーム 社会福祉法人
きたざわ苑 正吉福祉会
老人短期入所施設 社会福祉法人
きたざわ苑 正吉福祉会

○自転車等駐車場
(全員賛成)
施設名称 指定管理者
駒沢自転車等駐 社団法人世田谷区
車場ほか44件 シルバー人材センター
鳥山中央自転車 株式会社アイビー
等駐車場 メンテナンス

○身体障害者自立体験ホーム
(全員賛成)
施設名称 指定管理者
身体障害者自立体験 特定非営利活動
ホームなかまっち 法人つどい

○身体障害者自立体験ホーム
(全員賛成)
施設名称 指定管理者
三宿つくしんぼ 社会福祉法人
全国重症心身障害
児(者)を守る会
岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会
岡本福祉作業ホーム 社会福祉法人泉会
玉堤分場

○後期高齢者医療広域連合議会議
員補欠選挙候補者の推薦 1件
(全員賛成)
飯塚和道議員(公明)を東京都
後期高齢者医療広域連合選挙長
あてに推薦する。

○委員会の所属変更
岸武志議員(共産)の所属委員
会が都市整備常任委員会から文教
常任委員会に、中里光夫議員(共
産)の所属委員会が文教常任委員
会から都市整備常任委員会に変更
となった。

○都市整備常任委員会
副委員長 中里 光夫(共 産)
○決算特別委員会
委員長 小畑 敏雄(自 民)
副委員長 西村じゅんや(民 主)
副委員長 田中 優子(政 策)

○正副委員長の互選結果の報告
正委員長 中里 光夫(共 産)
副委員長 小畑 敏雄(自 民)

○企画総務常任委員会に付託 1件
固定資産税及び都市計画税の軽
減措置の継続について意見書等
の提出を求める請願

○区民生活常任委員会に付託 1件
廃品回収車の拡声機による騒音
に関する陳情

○福祉保健常任委員会に付託 1件
障害者が24時間安心して地域で
日々の生活を送れるようサービ
スの充実を求める陳情

○地方分権・庁舎問題等対策特別
委員会に付託 1件
安心・安全な国民生活実現のた
め、国土交通省の地方出先機関
の存続を求める陳情

○清掃・リサイクル対策特別委員
会に付託 1件
「容器包装リサイクル法を改正
し、発生活抑制と再使用を促進す
るための法律の制定を求める意
見書等」の採択を求める陳情

○世田谷区議会が、世田谷区街づ
くり条例の在り方について、参
考人の意見を聞くことを求める
陳情

○現行街づくり条例第22条第2項
ただし書きの修正を求める陳情

○賛成多数
賛成=良公明、政策みな世田谷
無所属
反対=民主共産生ネ、社民無党派
減税 虹

○賛成多数
賛成=良公明、政策みな世田谷
無所属
反対=民主共産生ネ、社民無党派
減税 虹

○以上2件の賛否は、不採択とす
ることに對するもの。
新しく出されたもの

○区議会定例会は、2、6、9、
11月の年4回開かれます。なお、
本会議や予算・決算特別委員会
の模様を、区役所第1、第3庁
舎、総合支所、文化生活情報セ
ンター内の市民活動支援コーナ
ーで生中継しています。ぜひご
らんください。

○区議会だよりのテープ版とデイ
ジー(CD-ROM)版を發行
しています。視覚障害のある方
などで希望される方には定期的
にお送りしていますので、お知
り合いでご希望の方がいらっし
やいましたら、ご連絡ください。
また、区立図書館で貸し出しも
行っていますので、ぜひご利用
ください。

請願

皆さんから出された請願・陳情
の審議結果などをお知らせします。
審議が終わったもの
不採択としたもの 2件

○世田谷区議会が、世田谷区街づ
くり条例の在り方について、参
考人の意見を聞くことを求める
陳情

○現行街づくり条例第22条第2項
ただし書きの修正を求める陳情

○賛成多数
賛成=良公明、政策みな世田谷
無所属
反対=民主共産生ネ、社民無党派
減税 虹

○賛成多数
賛成=良公明、政策みな世田谷
無所属
反対=民主共産生ネ、社民無党派
減税 虹

○以上2件の賛否は、不採択とす
ることに對するもの。
新しく出されたもの

○区議会定例会は、2、6、9、
11月の年4回開かれます。なお、
本会議や予算・決算特別委員会
の模様を、区役所第1、第3庁
舎、総合支所、文化生活情報セ
ンター内の市民活動支援コーナ
ーで生中継しています。ぜひご
らんください。



だれでも災害避難村スタンプラリーの様子(都立蘆花恒春園にて)

編集後記

○今定例会では、34名の議員が、
区内産業の振興や教育施策のさ
らなる充実など、区政のさまざ
まな課題について質問を行いま
した。

○区議会定例会は、2、6、9、
11月の年4回開かれます。なお、
本会議や予算・決算特別委員会
の模様を、区役所第1、第3庁
舎、総合支所、文化生活情報セ
ンター内の市民活動支援コーナ
ーで生中継しています。ぜひご
らんください。

○区議会だよりのテープ版とデイ
ジー(CD-ROM)版を發行
しています。視覚障害のある方
などで希望される方には定期的
にお送りしていますので、お知
り合いでご希望の方がいらっし
やいましたら、ご連絡ください。
また、区立図書館で貸し出しも
行っていますので、ぜひご利用
ください。

○お問い合わせやお気づきの点が
ありましたら、区議会事務局調
査係までお寄せください。
TEL(五四三三) 二七七九
TEL(五四三三) 二七七九
FAX(五四三三) 三〇三〇